

生駒市長 小紫 雅史 様

生駒市環境マネジメントシステム推進会議
会 長 楠下 孝雄

環境監査報告書

当会議は、平成 27 年度における貴市の環境マネジメントシステムに基づく取組に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 総合所見

1-1 全般的事項

従来から運用していた外部規格によらない独自のシステムを導入して初めての監査でした。事務局、監査対象所属、監査員のいずれもが初めてのシステム運用による戸惑いもあったと思います。書面中心の監査であったため、ヒアリングを実施しない所属については提出された書面でのみ監査を実施することとなり、実態や進捗の把握に工夫が必要だと感じます。

環境施策全般・環境関連計画の一体的な管理を主眼に置いたことにより、定着しているエコオフィスの取組に加えて、環境に係る施策についても委員それぞれの視点でヒアリングが実施できたことは評価できます。本来業務における環境配慮の取組も多く所属で定着している様子が窺えましたので、システムの運用方法を改善した上で、それぞれの所属の取組を全庁的に水平展開されることを期待いたします。

1-2 個別的事項

(1) 指標【帳票 1】

・市域における数値目標

目標達成率がマイナスになっている鉄道利用者数の増加目標は、団塊の世代の定年退職による通勤者の減少や少子化等、社会的な影響を多大に受けている可能性が高いです。平成 30 年度までの目標として環境基本計画に掲げられている数値になりますが、計画を見直す際に数値目標としても見直しが必要でしょう。

・公共施設における数値目標

11 項目のうち、△と×が一つずつであり、他はすべて○か◎ですので、取組は良好に進んでいます。目標達成率が著しく低い紙の使用量については、使用量が増加している所属をその理由とともに把握する必要があるのではないのでしょうか。増加した所属がバックデータを作成することで使用量抑制にも効果があると思います。

(2) 計画に基づく施策【帳票 2】

全 82 の取組のうち、「計画に追加／計画を前倒し／計画を深掘りして実施」が 12 個、「ほぼ計画通り」が 65 個、「計画より遅れている」が 5 個となっており、ほとんどの取組が計画通り実施できていることは評価できます。

「計画より遅れている」のは、全て環境モデル都市推進課の取組で、優先順位をつけて取り組まれているためであるとのことですが、関係所属との連携をさらに強化するなど、実施手法に工夫が必要だと感じます。

(3) エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況【帳票 3】

エコオフィスの取組はどの所属でも意識して推進している姿勢が窺えました。これまで運用してきた LAS-E 規格による運用が定着してきた証であると考えますので、今後は、本来業務における環境配慮や独自施策の展開を全ての所属に期待します。

優良事例一覧に追加された取組を見ると、幼稚園、小学校、中学校の取組が目立ち、それぞれがお互いの取組を共有できる仕組みも整ってきつつあることが推測できます。また、デイサービスセンターや生駒山麓公園など指定管理施設も独自の発想による環境配慮を進めていますので、民間の柔軟なアイデアを、他の施設等でも応用できないか検討をお願いできればと思います。

1-3 各部署の監査への対応について

今回の監査では、各所属が所管する施策の内容についてお聞きする機会が多かったですが、丁寧にご回答、ご説明をいただき、環境モデル都市に選定された市の職員として真面目に取り組む姿勢を感じました。これらのことを評価し、また感謝の意を表します。

一方で、独自システムへの移行により、ヒアリング対象所属が限定されるため、エコオフィスの取組への意識の低下も懸念されます。日常的な啓発等をより一層進めていただきたいと思います。

2. 実施概要

2-1 実施方法及び監査対象

主として次の3帳票をもとに、それぞれ対象となる所属に対して監査を実施しました。

帳票種別	監査対象とする項目	監査対象所属
【帳票1】指標	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画、エネルギービジョン、環境モデル都市アクションプラン¹で掲げている数値目標の達成状況 ・公共施設における数値目標の達成状況 	環境モデル都市推進課
【帳票2】個別事業に関する進捗状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画、エネルギービジョン、環境モデル都市アクションプランに定めている施策の取組状況 	各計画の個別事業担当所属 21ヶ所 企画政策課、市民活動推進センター、管理課、下水道課、教育指導課、秘書広報広聴課、環境モデル都市推進課、都市計画課、生涯学習課、総務課、経済振興課、建築課、上下水道部総務課、生活安全課、環境事業課、みどり景観課、浄水場、市民活動推進課、健康課、公園管理課、教育総務課
【帳票3】エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況 【帳票3（別紙）】上記の実施状況 記入シート	<ul style="list-style-type: none"> ・エコオフィスの取組（全職員に共通した取組）、本来業務における環境配慮、独自施策（各部署の取組）の取組・実施状況 	10部1室の各所属、学校、幼稚園、保育園、施設（指定管理施設を含む）全121ヶ所

¹環境モデル都市アクションプランのフォローアップ指標については、特に専門的な知見を要するため、有識者や関連企業・団体で構成する「環境モデル都市推進協議会」で確認を行います。

（参考）環境モデル都市推進協議会平成27年度開催状況及び会議録のページ

<http://www.city.ikoma.lg.jp/0000005559.html>

2-2 実施内容

(1) 指標【帳票 1】

- ・書面監査（平成 28 年 7 月 29 日）

環境モデル都市推進課から提出された帳票を、専門チーム会議にて確認しました。

市域における数値目標については、目標に対して進捗が遅れている項目を中心に要因の確認を行い、公共施設における数値目標については、次のとおり評価基準を見直した上で評価を決定しました。

【数値目標】

当初			見直し後	
評価区分 (%)	4段階評価	→	評価区分 (%)	4段階評価
120以上	◎		110以上	◎
80～120未満	○		90～110未満	○
40～80未満	△		60～90未満	△
40未満	×		60未満	×

【増加させない目標】

当初			見直し後	
評価区分 (%)	4段階評価	→	評価区分 (%)	4段階評価
101以上	×		105以上	×
100	△		100.1以上～105未満	△
70～100未満	○		90～100以下	○
70未満	◎		90未満	◎

(2) 個別事業に関する進捗状況等【帳票 2】、エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況【帳票 3】、エコオフィス、本来業務における環境配慮項目の実施状況【帳票 3 別紙】

- ・書面監査（平成 28 年 6 月 8 日～17 日）

提出された全所属の帳票について、班ごとに担当分を確認し、各所属フィードバック用のコメントとして「評価できる点」「改善を要する点」を記入しました。

・ヒアリング監査

①ヒアリング先の選定（平成 28 年 6 月 22 日）

監査対象 121 ヶ所から提出された帳票を用いて、以下の観点等からヒアリング先 15 ヶ所を選定しました。

【選定の観点】

- ・取組が不十分だと思われる所属
- ・優れた取組を実施しており、他所属の参考になるとと思われる所属

ヒアリング先に選定した 所属名
下水道課
生駒東小学校
金鷄の杜倭苑
生駒市立病院
鹿ノ台中学校
俵口幼稚園
秘書課
経済振興課
桜ヶ丘幼稚園
生駒小学校
人事課
高山幼稚園
議会事務局
教育総務課
生駒台小学校

※上記の 15 所属以外に、環境施策を包括的に所管している環境モデル都市推進課については、毎年度監査を実施することとしています。

②ヒアリングの実施（平成 28 年 7 月 19 日及び 26 日）

提出された帳票をもとに、2～4 名の監査員が 20 分程度でヒアリング及び現場の確認を実施しました。

班分け	ヒアリング先	担当委員
1 班	下水道課、生駒東小学校、金鷄の杜倭苑	浦川委員、楠委員、辻垣委員、安井委員
2 班	生駒市立病院、鹿ノ台中学校、俵口幼稚園、 環境モデル都市推進課	奥田委員、小宮山委員、寒川委員
3 班	秘書課、経済振興課、桜ヶ丘幼稚園	青木委員、新海委員、福中委員、宮崎委員
4 班	生駒小学校、人事課、高山幼稚園	濱口委員、矢田委員
5 班	議会事務局、教育総務課、生駒台小学校	楠下委員、寺内委員、横井委員

3. 結果

3-1 指標【帳票1】

数値目標達成状況

・市域における数値目標

項目		基準年度	目標年度	目標数値	基準年度実績値	2015年度実績値	目標達成状況 (達成率)	備考
温室効果ガス排出量 削減率 (単位:万t-CO ₂)	2006年度	2018年度	-14% =28.0	32.5	31.4 ※	24.4%		
		2030年度	-35% =21.1					
		2050年度	-70% =9.8					
エネルギー消費量 削減率 (単位:TJ)	2006年度	2018年度	-5% =7012.5	7381.6	7116.7 ※	71.8%		
		2030年度	-20% =5905.3					
再生可能エネルギーの普及 (単位:基)	2011年度	2018年度	普及率16.5% =4,650	1,350	2,900	47.0%	再生可能エネルギーの普及は、市域の太陽光発電の設置基数を用いて進捗管理をしている。年度ごとの増加基数を比較すると、平成21年度以降220～400基程度の増加となっていたが、平成24年度をピークに低下傾向にあり、主な原因は固定価格買取制度の単価引下げにあると考えられる。	
		2030年度	普及率30% =8,454					
太陽光発電によるエネルギー自給率 (単位:kW)		—	2030年度	15% =46,700	—	16,300	34.9%	エネルギー自給率は、市域の太陽光発電設置容量を用いて進捗管理をしている。
ごみ排出量	家庭系ごみ 削減率(1人1日当たり) (単位:g/人日)	2007年度	2018年度	-15% =570.0	673.2	552.3	117.2%	家庭ごみ有料化の開始により、可燃ごみの削減は一定の成果が得られているが、「ごみ半減プラン」の目標達成には更なる取組が必要。
	再資源化率 (単位:%)	2007年度	2018年度	30	16.8	23.4	50.0%	
	事業系ごみ 削減率(年間排出量) (単位:t)	2007年度	2018年度	6,721	9,128	8,942	7.7%	
公共交通	鉄道利用者数 増加率 (単位:千人)	2007年度	2018年度	現状維持～+0.5% =19,306	19,210	18,893	-330.2%	
	路線バス利用者数 増加率 (単位:千人)	2007年度	2018年度	+10% =5,586	5,078	5,201	24.2%	
	代替交通の新規路線 (単位:本)	2007年度	2018年度	コミュニティバスなどの代替交通の新規路線を複数ルート実現	1	6	○	6ルートの内訳 ・光陽台線 ・門前線 ・西畑線 ・有里線 ・北新町線 ・萩の台線
竜田川の水質 (単位:mg/L)		2007年度	2018年度	観測地点平均でBOD (生物化学的酸素要求量)5mg/L以下	阪奈道路下		3地点で○	平成23年度以降、目標を達成している地点は4つの観測地点のうち、1地点(市境)のみであったが、下水道の整備が進んだこと等から、初めて3地点においてのBODが5mg/L以下となった。
16	5.9							
東生駒川合流前								
10	3.7							
大宮橋下								
9.8	4.0							
市境								
8.0	3.1							
環境活動 参加人数(計画開始年度からの累計) (単位:人)		2009年度以降の累計	2018年度	117,000	—	84,419	72.2%	

※温室効果ガス排出量と、エネルギー消費量については、2014年度の実績です。また、2014年度の都道府県別エネルギー消費統計が未発表であるため、2013年度の数値を用いた暫定値です。

・ 公共施設における数値目標

目的	項目	平成27年度目標	平成27年度目標値		平成27年度実績値			目標達成率	評価	備考
			削減目標	削減実数						
				削減実数	二酸化炭素換算 (t-CO ₂)					
地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を平成22年度比で15.0%以上削減する。(1,124t-CO ₂ 相当)	-15.0%	1,124t-CO ₂	-17.9%	1,340t-CO ₂	1,340	119.2%	◎	
	電気	電気使用量を平成22年度比で14.0%以上削減する。(2,110千kWh相当)	-14.0%	2,110千kWh	-15.0%	2,266千kWh	804	107.4%	○	・生駒北中学校、南幼稚園の改修 ・北大和スポーツ施設のグラウンド及び野球場跡地の夜間利用ができない。
	ガソリン	ガソリン使用量を平成22年度比で10.0%以上削減する。(7,763 l相当)	-10.0%	7,763 l	-16.1%	12,520 l	29	161.3%	◎	古くなった公用車の入替の際、環境に配慮した入替を行っている(ハイブリッド車、軽自動車、電気自動車)
	軽油	軽油使用量を平成22年度比で60.0%以上削減する。(37,576 l相当)	-60.0%	37,576 l	-60.3%	37,778 l	98	100.5%	○	特に大きな変動はなかった
	都市ガス	都市ガス使用量を平成22年度比で21.0%以上削減する。(52,181kg相当)	-21.0%	52,181kg	-25.2%	62,703kg	201	120.2%	◎	特に大きな変動はなかった
	重油	重油使用量を平成22年度比で10.0%以上削減する。(29,640 l)	-10.0%	29,640 l	-22.9%	65,500 l	177	221.0%	◎	特に大きな変動はなかった
	灯油	灯油使用量を平成22年度比で25.6%以上削減する。(7,724 l)	-25.6%	7,724 l	-21.1%	6,374 l	16	82.5%	△	特に大きな変動はなかった
	LPG	LPG使用量を平成22年度比で増加させない。 ※平成22年度実績:52t	—	—	-9.5%	4,941 t	15	90.5%	○	現在、生駒北中学校が校舎の改築につき、使用量が減少
循環型社会の構築	紙類使用量	OA用紙の使用量を平成26年度比で3.2%以上削減する。(平成25年度比で増加させない) (1,942kg相当)	-3.2%	1,942 kg	1.8%	▲1,098 kg	—	-56.5%	×	複数の課で使用量が増加したため
	ごみ排出量	ごみの排出量を平成21年度比で50.0%以上削減する。(39,947 kg相当)	-50.0%	39,947 kg	-49.8%	39,790 kg	—	99.6%	○	ごみ半減プランでは、平成32年度50%削減を目標としており、毎年均等の比率で削減する場合、平成27年度は46.7%が削減目標となる。
健全な水循環	水使用量	水使用量を平成26年度比で増加させない。 平成26年度実績:269624m ³	—	—	-5.4%	14,680 m ³	—	94.6%	○	

3-2 計画に基づく施策（【帳票2】個別事業に関する進捗状況等）

(1) 個別事業進捗状況自己評価結果一覧表

所属	事業NO.	事業名	計画との比較
教育総務課	60	教育施設における再生可能エネルギー省エネ設備の導入	b) ほぼ計画通り
教育総務課	65	スーパーエコスクール推進	b) ほぼ計画通り
教育指導課	61	環境・エネルギー学習プログラムの検討	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
教育指導課	62	エコスクールへの応募(グリーンラッグの取得)	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
教育指導課	64	全小中学校での環境教育の実施	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
教育指導課	63	環境教育の担い手育成	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
管理課	48	市道の適切な維持管理	b) ほぼ計画通り
管理課	48	市道の適切な維持管理	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
管理課	48	市道の適切な維持管理	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
秘書広報広聴課	8	広報紙への環境啓発記事の掲載	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
企画政策課	45	コミュニティバスの整備拡充	b) ほぼ計画通り
環境事業課	9	ごみ減量市民向け啓発	b) ほぼ計画通り
環境事業課	10	フリーマーケット等の開催	b) ほぼ計画通り
環境事業課	59	ごみ半減プランに基づき、平成32年度までに21年度比で、家庭系可燃ごみを半減(家庭ごみ有料化の実施など)	b) ほぼ計画通り
環境事業課	59	ごみ半減プランに基づき、平成32年度までに21年度比で、家庭系可燃ごみを半減(家庭ごみ有料化の実施など)	b) ほぼ計画通り
下水道課	55	合併処理浄化槽設置推進	b) ほぼ計画通り
下水道課	56	浄化センターでの市民啓発	b) ほぼ計画通り
下水道課	58	効率的な汚水処理施設整備基本計画に基づき、平成30年度までに72.9%普及	b) ほぼ計画通り
上下水道部総務課	13	飲料用容器包装の削減	b) ほぼ計画通り
上下水道部総務課	13	飲料用容器包装の削減	b) ほぼ計画通り
山崎浄水場	22	上水道施設での小水力発電	b) ほぼ計画通り
生涯学習課	12	市民向け環境講座の実施	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
総務課	20	事業所向け中規模太陽発電システム(10kW以上)整備への支援	b) ほぼ計画通り
生活安全課	44	モビリティ・マネジメントの導入	b) ほぼ計画通り
生活安全課	47	地域公共交通総合連携計画に基づく公共交通の利用促進	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	1	スマートコミュニティ推進奨励金の交付	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	2	集合住宅のスマートコミュニティ推進	c) 計画より遅れている
環境モデル都市推進課	3	高齢者にやさしいコンパクトシティの整備	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	6	資源循環・エネルギー自給に関する市民の啓発	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	11	リユースびん商品の普及	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	14	省エネルギー診断の推進	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	15	低炭素型ライフスタイルの提案(節電対策)	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	16	民間事業者の省エネルギーの推進(周知・啓発)	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	17	民間事業者の省エネルギーの推進(インセンティブ)	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	18	省エネ性能の高い家電製品への買い替え補助	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	19	太陽光発電普及促進事業補助	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	19	太陽光発電普及促進事業補助	c) 計画より遅れている
環境モデル都市推進課	20	事業所向け中規模太陽発電システム(10kW以上)整備への支援	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	21	太陽熱利用システムの普及検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	23	家庭用燃料電池設置補助	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	24	民間事業所(医療機関、福祉施設等)向けコージェネレーションシステム整備への補助	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	25	生駒市立病院へのコージェネレーション導入	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	26	市の公共施設におけるコージェネレーション導入検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	27	バイオマスタウン構想に基づく取組の推進	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	28	新電力・地域エネルギー会社の設立検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	29	居住継続性能住宅の開発促進	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	30	ICTを活用した市域の温室効果ガス排出削減政策の検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	31	HEMS導入支援(戸建て住宅向け)	c) 計画より遅れている
環境モデル都市推進課	32	MEMS導入支援(集合住宅向け)・BEMS導入支援(事業者向け)の検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	33	公共施設におけるBEMSの導入	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	34	エネルギーの面的需給を管理するCEMSの導入検討	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
環境モデル都市推進課	35	情報サービス・新規コミュニティサービスの導入検討	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
環境モデル都市推進課	36	資源循環の拠点としての「エコパーク21」のあり方について検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	37	地域コミュニティ単位で、資源循環の拠点となる発電・熱・CO2生産設備導入の検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	38	CO2を活用した野菜・果物の栽培支援の検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	39	地産地消サイクルの構築検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	40	奈良県やけいはんな学研都市との連携によるEVステーションの設置、ICTを活用したEV利用環境の整備促進	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	41	市の公用車や既存コミュニティバス等のEVへの更新	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	42	超小型モビリティの導入検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	43	バイオガス・天然ガス・水素ガス車への転換と、エコエネルギーステーションの開設検討	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	46	自転車利用の促進	c) 計画より遅れている
環境モデル都市推進課	50	まちづくりの担い手支援	b) ほぼ計画通り
環境モデル都市推進課	57	雨水タンク設置補助事業	c) 計画より遅れている
経済振興課	20	事業所向け中規模太陽発電システム(10kW以上)整備への支援	b) ほぼ計画通り
経済振興課	39	地産地消サイクルの構築検討	b) ほぼ計画通り
経済振興課	39	地産地消サイクルの構築検討	b) ほぼ計画通り
経済振興課	41	市の公用車や既存コミュニティバス等のEVへの更新	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
経済振興課	46	自転車利用の促進	b) ほぼ計画通り
市民活動推進センター	7	協働・参画型事業の推進	b) ほぼ計画通り
市民活動推進課	7	協働・参画型事業の推進	b) ほぼ計画通り
市民活動推進課	20	事業所向け中規模太陽発電システム(10kW以上)整備への支援	b) ほぼ計画通り
みどり景観課	51	緑の基本計画、景観計画に基づく緑化の推進	b) ほぼ計画通り
みどり景観課	53	市民向け生垣助成	b) ほぼ計画通り
みどり景観課	54	緑被率、緑視率指標の導入と向上	b) ほぼ計画通り
公園管理課	49	公園整備や野外イベントの開催など、市民が自然と触れ合う機会の拡大	b) ほぼ計画通り
建築課	1	スマートコミュニティ推進奨励金の交付	b) ほぼ計画通り
建築課	4	省エネリフォーム支援	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施
建築課	5	中古戸建て住宅のリノベーション	b) ほぼ計画通り
建築課	52	開発行為における環境配慮	b) ほぼ計画通り
都市計画課	2	集合住宅のスマートコミュニティ推進	b) ほぼ計画通り
都市計画課	3	高齢者にやさしいコンパクトシティの整備	b) ほぼ計画通り
健康課	46	市民の健康増進	b) ほぼ計画通り

(2) 監査結果まとめ

今回の監査では、(1)に記載している自己評価による進捗状況を用いて以下の算出方法により4段階の仮評価をつけ、ヒアリング実施結果をふまえて本評価を決定する方式を採りました。従って、ヒアリングを実施していない所属については、進捗評価ではなく、「評価できる点」「改善を要する点」について、全所属にコメントを付しました。(3-3も同様)

<仮評価算出方法>

①所属ごとの自己評価による計画の進捗を以下の評点区分に基づき点数化し、点数区分ごとの取組数をかけて合計点数を算出

評価	点数
a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施	2点
b) ほぼ計画通り	1点
c) 計画より遅れている	0点
d) 取り組んでいない	-1点

②各所属によって取組数が異なるため、算出した合計点数を取組数で割って指数化

③指数を以下の区分に応じて4段階で評価

評価区分	仮評価
110～	◎
90～109	○
70～89	△
～69	×

<仮評価一覧>

所属名	a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施	b) ほぼ計画通り	c) 計画より遅れている	d) 取り組んでいない	取組数	合計点数	評価指数	4段階評価
企画政策課(政策企画推進課)		1			1	1	100	○
市民活動推進センター		1			1	1	100	○
管理課	2	1			3	5	167	◎
下水道課		3			3	3	100	○
教育指導課	4				4	8	200	◎
秘書広報広聴課(広報広聴課)	1				1	2	200	◎
環境モデル都市推進課	2	31	5		38	35	92	○
都市計画課		2			2	2	100	○
生涯学習課	1				1	2	200	◎
総務課		1			1	1	100	○
経済振興課	1	4			5	6	120	◎
建築課	1	3			4	5	125	◎
上下水道部総務課		2			2	2	100	○
生活安全課(防災安全課)		2			2	2	100	○
環境事業課(環境保全課)		4			4	4	100	○
みどり景観課(みどり公園課)		3			3	3	100	○
浄水場		1			1	1	100	○
市民活動推進課		2			2	2	100	○
健康課		1			1	1	100	○
公園管理課(みどり公園課)		1			1	1	100	○
教育総務課		2			2	2	100	○
総計	12	65	5	0	82	89	109	

<ヒアリング監査実施後の本評価>

ヒアリング監査を実施した4つの所属とも仮評価から本評価に変更はなく、妥当な自己評価がなされていると判断されました。

所属名	仮評価	本評価
下水道課	○	○
環境モデル都市推進課	○	○
経済振興課	◎	◎
教育総務課	○	○

3-3 エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況

（【帳票3】エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況）

監査結果まとめ

エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況については、取組目標を設定した上で進捗状況を報告する【帳票3】と、全職員に共通したエコオフィスの取組と独自施策の実施状況を自己評価する【帳票3（別紙）】の2帳票に基づき監査を実施しました。

・帳票3

帳票3の評価方法については、取組目標が適切な数設定されているか、という視点で2段階による仮評価をつけた後、ヒアリング実施所属については取組の内容・実施状況をふまえ、基準を設けた上で、4段階で本評価を決定する方式を採りました。

<仮評価算出方法>

取組項目設定数	2段階評価
3以上	○
2以下	×

<仮評価一覧>

全ての所属が3項目以上の取組目標を設定していたため、監査対象全所属の仮評価は○になりました。

<本評価算出基準>

取組の内容、実施状況	4段階評価
独自の工夫が凝らされている/新しい取組である/大きな成果を挙げている	◎
妥当な取組がなされている	○
取組に改善を要する点が見られる	△
取組の改善点が多数あり改善の姿勢も見られないため勧告を要する	×

＜ヒアリング監査実施後の本評価＞

ヒアリングを実施した結果、6つの所属における本評価が○から◎に変更になりました。評価が上がった理由はそれぞれ次のとおりです。

- ・鹿ノ台中学校

生徒自らが工夫を凝らしながら環境への取組を行い、グリーンフラッグ取得という大きな成果を挙げている

- ・俵口幼稚園

再利用を目的としたバザーにおいて、俵口小学校との連携により残品や廃品が出ないようにしている点は独自性がある

- ・環境モデル都市推進課

カーボン・オフセットの取組を新たに導入し、制度の周知に努めている

- ・桜ヶ丘幼稚園

環境への取組に関して、校舎長会、園児の保護者、地域ボランティアなどから積極的に情報収集を行い、導入を推進している姿勢が良い

- ・生駒小学校

校長先生、教頭先生が自らエコに関する絵本を選び、児童に読み聞かせを行っており、独自性がある

- ・高山幼稚園

新入職員に対するエコマニュアルの作成等、27年度に複数の取組を新たに導入している

所属名	仮評価	本評価
下水道課	○	○
生駒東小学校	○	○
金鷄の杜倭苑	○	○
生駒市立病院	○	○
鹿ノ台中学校	○	◎
俵口幼稚園	○	◎
環境モデル都市推進課	○	◎
秘書課	○	○
経済振興課	○	○
桜ヶ丘幼稚園	○	◎
生駒小学校	○	◎
人事課	○	○
高山幼稚園	○	◎
議会事務局	○	○
教育総務課	○	○
生駒台小学校	○	○

・帳票3（別紙）

帳票3（別紙）に記載の取組の中には、所属によっては該当しない項目が多々あること、実施状況を判断する基準が明確でなく、所属によって取り違いが存在していたことが判明しました。

そこで、評価方法としては、ヒアリング時に詳しく話を聞くこと等によって概ねどの程度の実施がなされている状況かを確認した上で評価を決定しました。

実施状況 (%)	評価
概ね 90 以上	◎
概ね 60～89	○
概ね 30～59	△
概ね 29 以下	×

所属名	本評価
下水道課	◎
生駒東小学校	○
金鷄の杜倭苑	○
生駒市立病院	○
鹿ノ台中学校	○
俵口幼稚園	○
環境モデル都市推進課	◎
秘書課	◎
経済振興課	○
桜ヶ丘幼稚園	○
生駒小学校	○
人事課	◎
高山幼稚園	○
議会事務局	○
教育総務課	◎
生駒台小学校	○

4. 次年度方針への反映事項

(1) 平成 28 年度公共施設における数値目標

平成 27 年度の目標達成状況や市の環境関連施策の状況等をふまえ、専門チーム会議で審議し、平成 28 年度の公共施設における数値目標及び評価基準を次のように設定しました。

目的	項目	平成 28 年度 目標	
地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を平成 22 年度比で 18.6%以上削減する。 (1,396t-CO ₂ 相当)	
	電気使用量の削減	電気使用量を平成 22 年度比で 18.8%以上削減する。 (2,834 千 kWh 相当)	
	公用車	ガソリン	ガソリン使用量を平成 22 年度比で 16.0%以上削減する。 (12,421 l 相当)
		軽油	軽油使用量を平成 22 年度比で 60.0%以上削減する。 (37,576 l 相当)
	燃料	都市ガス	都市ガス使用量を平成 22 年度比で 21.0%以上削減する。 (52,181kg 相当)
		重油	重油使用量を平成 22 年度比で 10.0%以上削減する。 (28,640 l)
		灯油	灯油使用量を平成 22 年度比で 25.6%以上削減する。 (7,724 l)
		L P G	LPG 使用量を平成 22 年度比で増加させない。 (※平成 22 年度実績：52 t)
循環型社会の構築	紙類使用量	OA 用紙の使用量を平成 27 年度比で 1.8%以上削減する。 (平成 26 年度比で増加させない。 (1,098kg 相当)	
	ごみ排出量	ごみの排出量を平成 21 年度比で 50.0%以上削減する。 (39,947kg 相当)	
健全な水循環	水使用量	水使用量を平成 27 年度比で増加させない。 (※平成 27 年度実績：254,944 m ³)	

<数値目標>

評価区分 (%)	4段階評価
110以上	◎
90～110未満	○
60～90未満	△
60未満	×

<増加させない目標>

評価区分 (%)	4段階評価
105以上	×
100.1以上～105未満	△
90～100以下	○
90未満	◎

(2) 帳票 3 における優良事例の整理

帳票 3 で提出された取組の中から次の①～③の観点で優良事例を抽出しました。抽出した事例は、平成 28 年環境マネジメントシステム運用方針の「過去の優良事例一覧」に追加し、全所属での水平展開につなげます。

<抽出の観点>

①独自の工夫が凝らされている ②新しい取組である ③大きな成果を挙げている

所属等		所見
福祉健康部	デイサービスセンター寿楽	本来業務の中で、施設利用者の食事量などを再アセスメントし、残食を減らしている。
教育振興部	高山幼稚園	①エコ体験教室を自由参観から通常の参観に格上げした ②新入職員に対しエコマニュアルを作成している ③新入園児説明会でパワーポイントを用いて園の環境の取り組み(エコ活動)を説明している
教育振興部	俵口幼稚園	①ゴミ削減と再利用を目指したバザーでは、小学校と連携して残品・廃品が出ないようにしている。 ②毎月エコだよりを作成し、保護者向けに啓発を行っている。
教育振興部	南幼稚園	休日参観日にエコ参観での出前講座の実施、絵本・紙芝居コーナーが設けられる取組など家族みんなで環境に関する学習ができたことと出席者にも好評であったこと。
教育振興部	生駒台小学校	低学年に対しては自作の紙芝居を用いた啓発を行うなど、環境への取組を全校生徒(901名)に浸透させる工夫を行い、グリーンフラッグ取得につなげた。
教育振興部	生駒東小学校	子どもたちの意識向上のため、独自の取組が積極的に推進されていることに加えて、PTA・地域住民との協力が密であることにより取組の主体を広げている。具体的には以下の①～⑤のとおり。 ①5～6年生主体の環境委員会が設けられており、先生が3名ついてカバーにあたっている。校内では身近な場所に目に付く形での意識付け活動が行われている。 ②エコキッズや4年生の社会総合学習の中で、食品ロスやゴミ分別について施設に出かけたり来校してもらったりして学習を進めている。 ③家庭訪問時、教員は自転車を利用している。 ④古紙回収については生徒だけでなくPTA、地域住民も一緒になり大きな成果(約100万円)を上げている。 ⑤食品ロスについて外部講師の授業を受けた後、徹底して残飯0を目指した取組を実践している。
教育振興部	生駒小学校	①体育館は、点灯しない→白熱灯だけつける→水銀灯もつける、の3段階に分けて点灯する工夫をしている。 ②節水レバーを業者に依頼せず教職員でレバー方式に付け替えた。 ③ボランティア・エコ委員会において児童が独自でシナリオからビデオを作製。 ④目で見える教育として、校長先生や教頭先生が絵本の読み聞かせを行っている。
教育振興部	鹿ノ台中学校	生徒が主体となってワークショップを行い、生徒会やそれぞれの委員会でエコ活動に取り組み、グリーンフラッグを取得した。
生涯学習部	生駒山麓公園	①マイクロバスの送迎を行っていることについて独自性がある。 ②自然と触れ合える体験イベントを実施し、参加者を増やす取組を推進している。
地域活力創生部	環境モデル都市推進課	①道路照明の無電極ランプ化を進めた。 ②独自施策としてカーボン・オフセットの取り組みを導入した。

5. 次年度の運用における改善点

今年度の運用において、以下のような改善点がありましたので、次年度の運用方針等に反映することが望まれます。

システムの運用について

- ・各所属の目標設定の段階で、設定項目や水準の妥当性について十分吟味する必要がある
- ・ヒアリングを実施していない所属に対しても PDCA の C から A のサイクルを効果的に廻すため、提出された書面における疑問点を事前に洗い出して確認を行うプロセスが必要
- ・目標を立てた後、年度終了後に振り返るサイクルの間に、途中経過の確認を行った方が効果的（書面での照会、研修の実施等）

ヒアリング監査の実施方法について

- ・ヒアリング監査を実施する対象所属数の増を検討するべき
- ・所属ごとのヒアリング時間にもう少し余裕がほしい

評価基準について

- ・母数や計画数を明らかにした上で、市民にも分かりやすい客観的な方法で目標達成率を算出できる仕組みが必要
- ・複数の班での評価を全体ですり合わせるプロセスが必要
例）4段階評価の基準となる評価区分をあらかじめ推進会議委員に諮り決定する

帳票について

（書式に関すること）

- ・帳票3別紙は、チェックリスト方式の是非を含めて検討し、該当しない項目と実施していない項目とを判別できる様式に変更する
- ・帳票3別紙の取組項目を見直し、実施状況を判断しやすい表現に改善する
- ・全ての帳票について、記入日、記入担当者、確認責任者等を記載することで、帳票への記入内容に責任を持たせる

（記入方法に関すること）

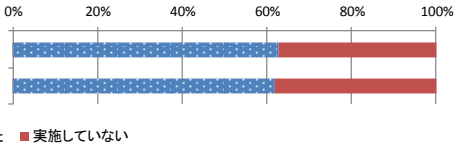
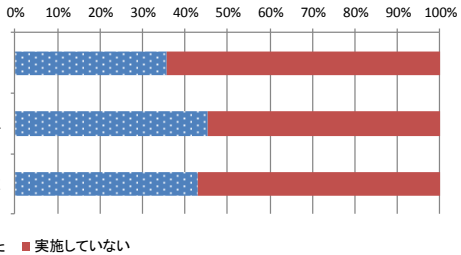
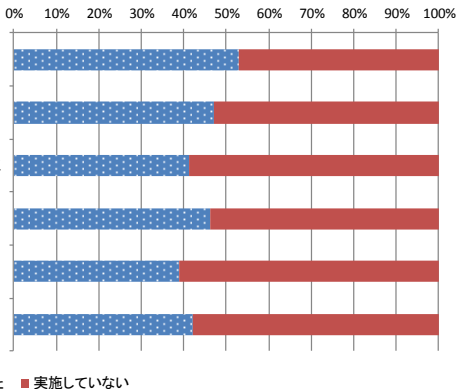
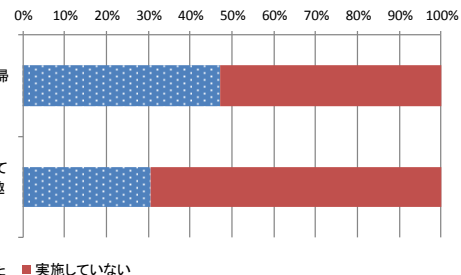
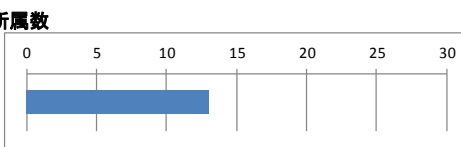
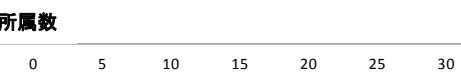








- ・各帳票の記入方法を事務局から分かりやすく説明し、提出された帳票に疑問点がないか確認する作業を丁寧に行う

添付 1. エコオフィス、本来業務における環境配慮項目の実施状況【帳票 3 別紙 集計結果】

※前述しているとおり、所属によっては該当しない項目があり、本来であれば「実施した」「実施していない」「該当しない」の3つの選択肢を設定するべきでした。下のグラフでは、「該当しない」が「実施していない」に含まれていることなど、実施状況を必ずしも正確に表すものではない点についてご注意いただきたいです。

分野	項目No.	取組	平成27年度実施状況
エコオフィスの取組 (全職員に共通した取組)	1	職場内で省エネルギー(電気、ガス、灯油などの利用削減や効率的利用)に取り組む	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>【照明】業務や市民サービスに支障がない範囲で、間引き消灯や昼休み消灯を実施する。</p> <p>【照明】時間外勤務や休日勤務時は、必要な箇所のみ点灯する。</p> <p>【照明】窓側や廊下で十分な採光が確保される場合は、消灯する</p> <p>【パソコン・機器】パソコンの節電対策を徹底する。</p> <p>【パソコン・機器】昼休みや長時間自席を離れるときなど、パソコンやOA機器を使用しない時は、電源を切る</p> <p>【パソコン・機器】シュレッダー等常時使用しない機器類は、使用するとき電源を入れ、使用後は必ず電源を切る。</p> <p>【パソコン・機器】私物の電気使用や充電はしない。</p> <p>【パソコン・機器】退庁時には、パソコン本体、プリンターの電源を必ず切る。</p> <p>【パソコン・機器】最後に帰る人は、パソコン、コピー機等電気機器類の電源の切り忘れがないかを確認する。</p> <p>【パソコン・機器】階段の使用を励行し、エレベーターの使用をできるだけ控える。</p> <p>【夏季・冬季節電対策】空調の温度設定は、夏期28℃、冬期20℃とする。</p> <p>【夏季・冬季節電対策】推進本部が決定する節電対策メニューを徹底する。</p> <p>■ 実施した ■ 実施していない</p>
	2	職場内で節水や排水時の環境負荷低減に取り組む	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>洗面所やトイレの使用の際には、必要以上に水を流さず節水に努める。</p> <p>水道の使用後は、水栓の止水を確認する。</p> <p>せっけん、洗剤は必要な量だけ使う。</p> <p>食器を洗う時は、必要以上に水を流さず節水に努める。</p> <p>■ 実施した ■ 実施していない</p>
	3	職場内で紙使用の抑制再利用リサイクルに取り組む	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>両面印刷、縮小印刷機能の活用を徹底し、紙の使用量を減らす。</p> <p>使用済み用紙(片面使用済み用紙)の裏面活用を徹底する。</p> <p>コピー機の横に使用済み用紙をストックできる容器を設置する。また、設置する場合は、「片面使用済み用紙」「両面使用済み用紙」「シュレッダー処理が必要な用紙」に分けて容器を用意する。</p> <p>コピー機の使用後は、次に使用する人がミスコピーをしないように、必ずリセットボタンを押す。</p> <p>プリントアウトするときは、不必要な部分まで印刷しないよう、よく確認して必要な部分のみ印する。</p> <p>簡易な供覧については、プリントアウトしないでメールで送るなど、庁内LANを活用する。</p> <p>会議資料等は工夫してできるだけ簡素化し、作成部数の適正化を徹底する。</p> <p>印刷物は、配布先や内容を精査し、必要最小限のページ数、部数とする。</p> <p>使用済み封筒は、庁内で活用する。</p> <p>■ 実施した ■ 実施していない</p>

4	<p>職場内で廃棄物の発生抑制再利用リサイクルに取り組む</p>	<p>平成27年4月の家庭系ごみ有料化に伴い、市役所が率先垂範してごみ減量を徹底する。</p> <p>ごみの分類については、各所属で分類方法を決定し、エコ推進責任者が各職員に通知し、その分類方法に従って行動する。</p> <p>ファイル等は、可能な限り再利用する。</p> <p>びん、缶、ペットボトルなどは、所定の場所に設置されたリサイクルボックスに出す。</p> <p>個人用のごみ箱は撤廃し、ごみ箱を共有する。</p> <p>プラスチック製容器包装について分別を徹底し、資源化する。</p> <p>個人情報が含まれた文書を大量に処分する場合でも、できる限り焼却処分せずにシュレッダー処理をし、資源化する。</p> <p>市役所も市内の一事業者であるとの認識を徹底するため、各課の事業に伴うごみや、一時的に多量に出るごみについては、事業系指定袋を各課で購入する。</p> <p>会議等での飲料は原則提供しない。</p> <p>会議等の開催前に参加者には必要に応じてマイボトル等を持参してもらうように呼びかける。</p> <p>長時間に及ぶ会議など、飲料が必要となる場合には、会場の隅に湯茶やリユースびん入り飲料と湯飲みやガラスコップなどともに準備しておき、セルフサービスにより対応することも可能とする。</p> <p>イベント等会議以外で飲料を提供する場合についても、上記の趣旨を尊重し、リユース容器の使用に努めること。</p>
5	<p>職場で使う製品のグリーン購入（再生紙、環境配慮型製品の利用など）や地場産品の購入に取り組む</p>	<p>物品の購入にあたっては、まずその必要性をよく検討し、必要と判断した場合は、適正な量をよく検討した上で購入数量をできるだけ抑制する。</p> <p>物品を購入する際には、環境負荷の低減を図るため、環境に配慮された物品を優先的に調達する。</p> <p>コピー機やプリンターのトナーについては、リサイクル可能な商品を購入する。また、使用後は回収業者に回収してもらう。</p> <p>電化製品などの新規購入や買い替え時には、製品に表示されている省エネラベルなどを参考にし、省エネ性能に優れた製品を購入する。</p> <p>使い捨て製品は、できるだけ購入を控える。</p> <p>不要な袋や包装は断り、簡易包装での納品を要請する。また、その旨を仕様書に明記する。</p>
6	<p>公用車利用による環境影響の抑制（職員の勤務中の公用車利用の抑制、エコドライブ、自転車の利用や低公害車の導入など）を実施する</p>	<p>県庁への出張など、公共交通機関を利用できる場合は、公用車の使用を控える。</p> <p>近距離では、公用自転車を利用する。</p> <p>公用車を使用する際には、できるだけ低公害車や燃費のよい車を優先的に利用する。</p> <p>環境モデル都市推進課の所有する電気軽自動車を積極的に活用する。</p> <p>急発進急加速や空ぶかしはしない、燃費の向上に努める。</p> <p>3分以上停車することが予想される際には、アイドリングストップを励行する。</p> <p>運転前点検時には、タイヤの空気圧が下がっていないか確認する。</p> <p>走行経路を精査し、無駄な走行を無くす。</p> <p>可能な場合は、相乗りをするよう心がける。</p> <p>公用車の新規購入にあたっては、低公害車を積極的に導入する。</p>

7	職員の通勤時の直接的環境影響の低減(マイカー使用の抑制、エコドライブ、公共交通機関や自転車の使用など)を実施する	<p>近距離の通勤にはなるべく徒歩又は自転車を利用する。</p> <p>通勤にはなるべく公共交通機関を利用する。</p>  <p>■ 実施した ■ 実施していない</p>
8	庁舎施設内に常在する者(施設管理者、食堂、売店スタッフ等)に環境配慮の要請をする	<p>【要請内容】社用車の環境に配慮した運転の励行(アイドリングストップや急発進急加速の禁止等)</p> <p>【要請内容】省エネ、省資源、ごみ減量への取組</p> <p>【要請内容】その他、業務営業等における環境への配慮</p>  <p>■ 実施した ■ 実施していない</p>
9	庁舎施設へ出入りする事業者に環境配慮の要請をする	<p>【要請内容】物品納入の場合には、過剰な包装はしないこと。</p> <p>【要請内容】物品納入時の包装容器の持ち帰り</p> <p>【要請内容】弁当などの空容器の回収</p> <p>【要請内容】職員への unnecessary 個別チラシの配布自粛</p> <p>【要請内容】社用車の環境に配慮した運転の励行(アイドリングストップや急発進急加速の禁止等)</p> <p>【要請内容】その他、業務営業等における環境への配慮</p>  <p>■ 実施した ■ 実施していない</p>
10	公共施設の利用者に対し環境配慮の要請をし、その状況を確認する	<p>【要請内容】電気ガス冷暖房等の消し忘れの確認やごみの持ち帰りなどの呼びかけ</p> <p>【要請内容】公共施設における自動販売機については、原則として撤廃することとなり、施設利用者へ自動販売機の撤廃の趣旨を伝えるとともに、マイボトル持参などの呼びかけ</p>  <p>■ 実施した ■ 実施していない</p>
11	その他エコオフィスの取組	<p>実施した所属数</p> <p>その他エコオフィスの取組</p> 
独自の環境施策(各部署での取組)	12 公共施設における再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなど)の活用を検討し、導入する	<p>実施した所属数</p> <p>公共施設における再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなど)の活用を検討し、導入する</p> 
	13 公共施設において環境配慮型設備の設置更新(高効率省エネ型設備、断熱化、緑化など)を検討し、導入する	<p>公共施設において環境配慮型設備の設置更新(高効率省エネ型設備、断熱化、緑化など)を検討し、導入する</p> 
	14 再生可能エネルギーの利用や省エネルギー活動を実践することにより、災害に強い低炭素型のまちづくりを進める	<p>再生可能エネルギーの利用や省エネルギー活動を実践することにより、災害に強い低炭素型のまちづくりを進める</p> 
	15 環境負荷の少ない移動手段の確立を進める	<p>環境負荷の少ない移動手段の確立を進める</p> 
	16 健全な水循環や、清らかな水辺環境の維持回復を進める	<p>健全な水循環や、清らかな水辺環境の維持回復を進める</p> 
	17 森林農地の持つ環境保全機能を維持し、生物多様性の保全創造を進める	<p>森林農地の持つ環境保全機能を維持し、生物多様性の保全創造を進める</p> 
	18 廃棄物の排出や有害物質の使用を減らし、資源の循環利用を進める	<p>廃棄物の排出や有害物質の使用を減らし、資源の循環利用を進める</p> 
	19 地域資源の活用や地域間連携による産業育成やまちづくりを進め、食糧や主要な資源の自給度を高める	<p>地域資源の活用や地域間連携による産業育成やまちづくりを進め、食糧や主要な資源の自給度を高める</p> <p>本来業務における環境配慮</p> 
	20 本来業務における環境配慮	<p>その他独自施策</p> 
21 その他独自施策		

添付 2. 監査結果のフィードバック（所属別）

・ヒアリング実施所属

所属名	評価結果		評価できる点	改善を要する点
	計画に基づく施策の進捗状況	エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況		
金鶏の杜後苑		○	○	①空調機老朽のため室温管理が困難な場合は、温度計の設置数を増やし、こまめな空調操作を行うなどで室温管理を行ってください。ただし、高齢者の利用が多い施設なので、利用者の健康状態に配慮した室温管理を行ってください。 ②独立の建物のため省エネ、節水、紙使用量等が把握しやすいと思うので、具体的な数値目標を設定した上での取組が望まれます。
下水道課	○	○	◎	①小学校対象の施設見学会、公共下水道切替事業が計画通りに実施できている点が評価できます。 ②水洗化の案内配布や個別訪問により、積極的に利用を促進している点が評価できます。
生駒東小学校		○	○	独自の取組を積極的に推進していることに加え、PTA環境部及び地域住民との協力など、取組の主体を広げている点が評価できます。
鹿ノ台中学校		◎	○	生徒の自主的な取組を地域の協力へつなげ、中学校としては全国で2番目に「グリーンフラッグ」を取得されている点が大変素晴らしいです。
生駒市立病院		○	○	①電子機器の電源切り忘れが発見された場合、翌朝メールで全員にその内容を送信し、そのことにより電源の切り忘れを減らした点が評価できます。 ②入院患者のメンタルケアとして屋上緑化を導入しているのは良い取組です。
俵口幼稚園		◎	○	①ゴミ削減、再使用目的のバザーでは、俵口小学校との連携で売れ残りや廃品が出ないようにしている点が評価できます。 ②毎月発行している園だよりに園記事と併せて、環境への取組を分かりやすく紹介するなど、保護者への啓発を積極的に行っています。
環境モデル都市推進課	○	◎	◎	①環境施策に関する大量の事業を確実に実行している点が評価できます。 ②道路照明約430灯(2ヶ年で約1,300灯)を無電極ランプに更新し、また、カーボン・オフセットの導入など、温室効果ガス削減に向けて新たな取組を導入している点が評価できます。
秘書課		○	◎	①市の環境行動についてアピールを実施した理事者への来客の反応等についても可能な範囲で把握し、効果検証を含む今後の取組につなげてください。 ②LAS-E合格証の掲示だけでは取組内容が分かりにくいので、環境モデル都市としての取組が理事者への来客にとって分かりやすいものも併せて掲示してください。
経済振興課	◎	○	○	①無償貸与の電気自動車を活用して農業分野の環境負荷の軽減を積極的に推進するとともに、他課の事業とも連携して活用している点が評価できます。 ②地産地消サイクルの構築検討では、イノシシ対策マニュアルを作成し遊休農地化を防ぐことにより前段階の対策を取っている点が評価できます。
桜ヶ丘幼稚園		◎	○	①エネルギー使用量やコピー代等を数値化した上で前年度と比較するなど、高い意識で削減に努めている点が評価できます。 ②他からの情報提供を受けて、良い取組については積極的に取り入れている点が評価できます。
人事課		○	◎	①作業服のリサイクルを積極的に推進している点が評価できます。 ②電子化によるペーパーレスの推進に継続的に取り組んでいる点が評価できます。
生駒小学校		◎	○	学校長によるエコ講話・読み聞かせ、ボランティアエコ委員会によるエコビデオの作成や視覚に訴える掲示物等、独自の取組を様々な手法で多く実施している点が評価できます。
高山幼稚園		◎	○	設定した目標に対して適切な対応ができており、園児だけでなく、保護者も巻き込んだ取組を実施している点が評価できます。
議会事務局		○	○	コピー用紙の購入量やガソリン使用量(燃費)について具体的な数値目標を設定した上で取組を実施し、結果についてもきちんと把握されている点が評価できます。
教育総務課	○	○	◎	①再生可能エネルギーの導入やスーパーエコスクールの推進等重要な施策を担い、計画どおり実行している点が評価できます。 ②エコボーナス制度やデマンド監視システムを活用し、各学校の環境施策を推進しています。
生駒台小学校		○	○	①環境委員会を中心に計画を立て、節電、節水、廃棄物の分別など徹底して実践してきており、グリーンフラッグ取得という大きな成果につながっている点が素晴らしいです。 ②低学年には、紙芝居を自作の上意識浸透を図り、工夫している点が評価できます。

・書面監査のみの所属

所属名	評価できる点	改善を要する点
政策企画推進課	<p>※①コミュニティバスについて、路線毎の利用状況を把握し、運行計画を見直して利便性を向上させ、利用者増に取り組んでいる点が評価できます。</p> <p>②会議でのプロジェクター使用により、紙使用削減に向けて取り組んでいるのはとても良い取組ですので、引き続き実践してください。</p>	<p>※①さらなるコミュニティバスの利用者増を目指すために、具体的な数値目標を定めた取組ができないか検討してみてください。</p> <p>※②地域公共交通活性化協議会における公共交通のあり方の議論の中で、具体的な目標を設定することも検討してください。</p>
※がっている点については、平成28年度以降公共交通網の普及を所管している防災安全課にも同じ内容を伝えていきます。		
消費生活センター	<p>①リサイクル商品の購入に意欲的に取り組まれている点が評価できます。</p> <p>②エコオフィスの取組は定めた目標・具体的内容について実施できているように思います。</p>	紙購入数の管理は比較的簡単なので、紙使用量削減については具体的な数値目標を定めて取り組んでもらいたいです。
情報政策課	<p>①住民情報系システムの一部クラウド化でサーバー台数を20台削減し、省エネルギーに貢献している点が評価できます。</p> <p>②エコマーク付物品を優先的に購入しているなど、良く努力していると思います。</p>	情報システムのクラウド化をさらに進めるため、具体的な目標を定めて取り組んでください。
市民活動推進センター	<p>①イベント等における環境保全関連ボランティア団体の活動紹介を行う機会や団体が情報交換する場を調整し、計画通り開催している点が評価できます。</p> <p>②エコオフィスの取組について、節電・節水に注力し、意欲的に取り組まれていると思います。</p>	<p>①らポートは建物が独立しており、エコオフィスの取組について庁内にある他の所属よりも実績把握がしやすいと思います。できるだけ具体的な数値目標を定めた取組が望まれます。</p> <p>②施設利用者や団体への環境配慮要請について、貼り紙を用いた要請以外にも工夫して取組んでみてください。</p>
収税課	本来業務において、催告書の送付時のチラシの文言や封筒の仕様変更等の工夫によって市税の徴収率が向上したことに加え、紙使用量を削減している点が評価できます。	可能な範囲で、具体的な数値目標を定めて実践することが望まれます。
男女共同参画プラザ	節水や資源ごみの分別を徹底されており、エコオフィスにおける環境配慮の取組が目標に沿って実施されている点が評価できます。	項目No.8「庁舎内に常駐する者への環境配慮要請」に関して、ハンドブック配布時には、相手の理解度に合わせた説明等の工夫を行い、定期的な啓発につなげてください。
障がい福祉課	紙使用量抑制に関して具体的な数値目標を定めて取り組むなど、エコオフィスに関して努力している点が評価できます。	<p>①数値目標を設定して取組んだ結果(目標達成度)を、「取組状況」欄に記載してください。</p> <p>②項目No.5で記載している紙の分別が不十分な現状に関して、その原因を調べた上での改善に向けた取組が望まれます。</p> <p>③エコオフィスだけでなく、本来業務における環境配慮についても、何か取り組めることがないか考えて実行してください。</p>
病院事業推進課	定めた目標に対して具体的な取組を実施しています。	設定している目標水準は、全庁的に実施され、定着している取組ですので、さらにエコオフィスを推進するための目標を設定した取組が望まれます。
管理課	「市道の適切な維持管理」に関して、3つの具体的な取組目標を定め、計画どおり実施している点が評価できます。	帳票3で設定している目標水準は、全庁的に実施され、定着している取組ですので、さらにエコオフィスを推進するための目標を設定した取組が望まれます。
営繕課	LED照明の設置等省エネに配慮した設計を実施している点、市営住宅における外灯の一部LED化、共用部分の間引き消灯を実施している点が本来業務における環境配慮をよく実践できており、評価できます。	<p>①項目No.4「職場内で廃棄物の発生抑制再利用リサイクルに取り組む」について、プラスチック製カップを使用する必要性について精査した上で、次年度の目標を立ててください。</p> <p>②項目No.20「市営住宅の共用部分照明設備の省エネ化」は、効果的な取組であると考えますので、具体的な数値目標を定められることが望まれます。</p>
監査委員事務局	紙使用量の抑制について、両面印刷の徹底や、庁内LANを活用することに加え、監査資料についてもデータ受領ができないか検討に向けた積極的な姿勢が評価できます。	項目No.1「職場内で省エネルギーに取組む」について、電気機器の切り忘れがないかチェックする体制の確立を目標に設定されていますが、取組状況欄に記述が無い為、実施状況がわかりません。チェック体制を整えることは大切ですので、次年度も同じ目標を設定される際は、具体的にどのような体制を確立したのか記述してください。
桜ヶ丘小学校	グリーンカーテンづくり、ミックスペーパー・段ボール・新聞紙で2,290kgのリサイクル、年間延5単位時間の環境教育など、独自の施策を積極的に実施している点が大変評価できます。	<p>①項目No.21「環境教育」については、時間単位での数値的な目標と併せて、児童の理解度や受講後の行動変容等、質的な効果についても検証し、さらなる取組をすすめてください。</p> <p>②プリンター機器類等に関する業務について、今一度節電の観点から日々の状況を振り返った上で目標を設定してください。</p>
光明中学校	<p>①会議におけるPC活用等、エコオフィスの取組を計画どおり実施している点が評価できます。</p> <p>②育友会との連携は、取組を地域に広げていこうとする姿勢が窺えます。</p>	生徒に対して実施されている環境教育の実施状況についても、目標を設定した取組を行うことで、さらなる推進を期待します。
生駒北中学校	<p>①エコオフィスについて、ペーパーレスの取組を徹底できている点が評価できます。</p> <p>②授業の「ジャガイモ栽培」において、全て雨水を利用したことは、生徒の環境意識向上の観点からも良い取組です。</p>	生徒に対して実施されている環境教育の実施状況についても、目標を設定した取組を行うことで、さらなる推進を期待します。

所屬名	評価できる点	改善を要する点
教育指導課	①計画に基づく4つの事業の全てについて、適切な目標を定めた上で計画通り実施できている点が評価できます。 ②エコ活動を地域に広げる取組である鹿ノ台中学校のエコフェスタは大変良い取組なので、他の学校にも普及できないか検討してください。 ③「エコキッズいこま」を全ての小学校で実施したことは評価できます。	①燃えるごみ、プラごみの分別については、ゴミ箱にラベルを貼ることは、既に全庁的に取り組んでいることであるので、早急に対応願いたいです。 ②環境教育プログラムについては、環境モデル都市推進課とも連携しながらさらなる取り組みをすすめてください。
ひがし保育園	①上質紙の配布物の残りを折り紙に利用する取り組みは、独自の工夫がみられ評価できます。 ②エコ担当職員を中心に、会議の場を持ち、環境教育の意識付けを行っている点が評価できます。	項目No.20「本来業務における環境配慮」で設定した目標(環境絵本、環境紙芝居を通し、節水・節電・ゴミの分別等の推進を図る)に対する進捗状況がわからないので、次年度も同じ目標を設定される際は、具体的な取組状況を記載してください。
生駒台幼稚園	①月に一度古紙回収の呼びかけをする際、保護者の協力を得ながら取り組んでいることについて、園での取組を保護者に広げている点が評価できます。 ②消灯や裏面印刷等にも積極的に取り組んでいる様子がうかがえます。	
壱分幼稚園	①保護者の協力を得て不用となった布カバンやぬいぐるみを年間2回にわたり回収している取組について、園での取組を保護者に広げている点が評価できます。 ②親子エコ教室の開催や、各保育室のゴミを当番の園児に回収させ、分別の大切さを指導している点が評価できます。 ③消灯やゴミ分別の徹底を実施できていると思います。	①項目No.2「節水、環境・エコ教育推進」について、具体的な目標を5つ定めている点は良いですが、個々の目標の進捗状況がわからないため、無理のない目標を設定した上で、個別取組の進捗管理に努めてください。 ②紙使用量については、量的な把握が容易なので、具体的な数値目標を設定することが望まれます。
生駒駅前図書室	①古本まつりの開催で、3,000冊を超える本のリユースを実施できている点が評価できます。 ②環境・社会・経済面の持続可能性のシンボルとして国際的に認識されているレインフォレスト・アライアンス認証のコーヒー豆を自動販売機で使用することは、市民に対する啓発の観点からも非常に良い取組です。 ③節電についても、こまめな取組を徹底して実施できていると思います。	
生駒市体育協会総合S.C.	節電や紙使用の抑制等に関して、数値目標を定めて努力している点が評価できます。	①項目No.3「職場内で紙使用の抑制再利用リサイクルに取り組む」について、目標としているコピー用紙購入の10%削減が達成できたかどうかかわからないので、次年度も同じ目標を設定する場合は、具体的な進捗状況を記載してください。 ②他の所屬が取り組んでいる「過去の優良事例」等を参考とし、独自の環境施策に挑戦できれば良いと思います。
消防本部総務課	使用済用紙の分別に注力しており、適切な目標設定及びそれにもとづく取組が実践できています。	
消防署北分署	独自施策として、花の植樹や庁舎周辺の清掃活動を継続して実施しており、良く努力しています。	事業者に対する、物品納入時の包装容器持ち帰りや空容器的回収要請について、課題と対策を検討した上で次年度の目標設定を行ってください。
広報広聴課	①広報いこまの各課への校正依頼を電子化して実施しているほか、取材の交通手段を極力公用車以外の方法にしている点など、エコオフィスの取組状況は良いと思います。 ②広報紙への環境啓発記事の掲載は目標回数を大幅に上回っており、さらに、独自施策として市民・市外に対してfacebookを用いてエコ活動を紹介する取組がとても評価できます。	帳票3項目No.21の独自施策に関して、エコ活動を含む様々な情報を発信しているPR冊子「まんてんいこま」は、知っている市民が少ないように思うので、さらなる市民への周知を進めてもらえれば良いと思います。
生駒駅南自動車駐車場	①グリーン購入でリサイクルトレットペーパーの使用を徹底している点が評価できます。 ②施設内ゴミ箱を撤廃し、ゴミの削減に努めていることに加え、必要のない包装を事前に断る方針を出されている積極的な姿勢が良いです。	施設利用者への協力要請として、アイドリングストップを呼びかける工夫をされてはどうかと思います。
財政課	省エネ、排水時の環境負荷低減、紙資源使用削減など基本的な事を継続し適切に実施できています。	業務の性質上、紙の印刷量が多くなっているようですが、印刷物でなく他に代替する方法はないか様々な手段を検討してもらいたいです。
人権施策課	施設来館者に対する環境配慮要請、グリーン購入、業者への簡易包装指導等、基本的な取組を適切に実施できています。	
清掃センター	①焼却炉の運転計画見直しにより、前年度比約10%程度灯油使用量が削減できた点はとても評価できます。 ②職場内での廃棄物抑制について、現在の取組に加えて、マイボトルの活用推進等、新たな方針を打ち出している点が期待できます。	項目No.1「省エネルギーの取組」に関して、無人室の照明消し忘れ防止のポスター掲示については、効果的な掲示場所を検討しながら取り組みを進めてください。
RAKU-RAKUはうす	①施設内からゴミ箱を撤廃し、ゴミの発生をゼロとしたことは大変評価できます。 ②空調関係のエアコン運転抑制と運転時の設定温度を制限し、省エネルギーの推進を図っていると思います。	施設内エアコンの運転抑制や温度設定に関する苦情への対応については、館内に環境配慮をPRする掲示物を掲示するののも一つの工夫かと思しますので、参考にしてみてください。
福祉センター	①施設利用者に対して、ゴミの持ち帰りや、節水の協力要請を徹底している点が評価できます。 ②緑のカーテンコンテストで3年連続優秀賞を受賞しており、環境配慮に対する高い意識をもって取り組んでいると思います。	項目No.4「廃棄物の発生抑制再利用リサイクルの取組」に関して、プラスチックで汚れがひどいもの等、ゴミの出し方に疑問があるものについては、環境保全課が発行している「ごみガイドブック」をうまく活用して所属内で周知を図ってください。

所属名	評価できる点	改善を要する点
都市計画課	消耗品費とコピー印刷枚数について、具体的な数値目標を設定して削減に取組み、目標を達成できている点が評価できます。	学研北生駒駅中心地区まちづくり事業計画会議において、定期的に進捗状況を確認しながら低炭素なまちづくりを推進してください。
生駒山麓公園	①送迎マイクロバスの運行や、自然と触れ合える体験イベントを推進するなど、独自施策の取り組みに関して、高い推進意欲を感じます。 ②浴場改修工事に伴い、水栓金具を自閉式に変更し節水に努めた点も大変評価できます。	
竜田川浄化センター	施設見学者向けに環境啓発のPRを実施している他、デマンド監視システムの導入により最大使用電力量を抑制しているなど、日常的に環境配慮に取組まれており、良いと思います。	施設見学による環境啓発は大変良い取組なので、更なる見学者の増加を目指してください。
上下水道部工務課	エコオフィスの取組に加えて、独自の施策として、ゴーヤカーテンの設置と雨水を利用した水やりを実施している点が評価できます。	①紙の再利用については、「片面使用済み用紙」「両面使用済み用紙」に分けて容器を設置する等の基本を再度確認して取組んでください。 ②自動車によるCO2排出の問題も視野に入れ、関連項目の取組を進められれば良いです。
鹿ノ台小学校	①学級通信や学年通信を通して子ども達の活動を保護者に広げている点が評価できます。 ②運動場の芝生化は、独自の取組であるので、効果等の検証による他校への普及が期待できます。 ③環境教育については、子どもたちの意識向上を目指している前向きな姿勢が見て取れます。	
生駒南小学校	①環境エコ委員会の児童を中心として環境保全・啓発活動が実施できており、広報を通して保護者にも周知を図っている点が評価できます。 ②グリーンカーテンの設置、雨水タンクの利用等、自然資源を活かした取組が実践できています。	
大瀬中学校	生徒会等が主体となってエコキャップ回収運動、通学路のクリーンキャンペーン、花いっぱい運動を実施し、多くの生徒を活動に巻き込んでいる点が素晴らしいです。	
中保育園	①デマンドシステムを活用し、電気の使用量限界を放送で知らせているのは独自の取組で素晴らしいです。 ②親子エコ競技による学習を推進し、エコキャップの回収においても保護者の職場で協力を得られている点が、園の取組を保護者に広げられている証だと思います。	
南こども園(みなみ保育園)	①再生可能エネルギーの導入を実施されている点が評価できます。 ②子どもの年齢ごとに環境目標を立てて、定期的なエコ会議を開かれている点に、高い意識を感じます。	
生涯学習課	全国規模の会議である環境自治体会議を、寿大学の学習会と位置づけて参加したことはとても良い取組です。環境講座実施回数も目標を上回っており、素晴らしいです。	
スポーツ振興課	省エネルギーの推進、紙使用の削減、体育施設への協力依頼等積極的に環境配慮に取組まれていると思います。	①項目No.1省エネルギーの取組について、できていないことに関する課題を整理した上で次年度の目標を設定してください。 ②体育施設の雨水等、自然エネルギーの利用について検討が望まれます。
北大和スポーツ施設	施設利用者に対して、ゴミの持ち帰り、アイドリングストップ、エコドライブ等の呼びかけを徹底されている点が評価できます。	体育施設の雨水等、自然エネルギーの利用について検討が望まれます。
消防本部予防課	①アイドリングストップや相乗り等、日常業務においてエコドライブを心がけている点が評価できます。 ②省エネ、節水、紙使用の抑制、グリーン購入等、基本的な環境負荷削減の取り組みは熱心に行われていると思います。	
総務課	①環境マネジメントシステムでは、冬季の空調温度設定は20℃を取り組み目標にしているが、自主的に19℃に設定して運用している点が良いです。 ②計画通りのスケジュールで市役所本庁舎に太陽光発電設備を設置したことも評価できます。	帳票3項目No.4「廃棄物の発生抑制再利用リサイクルの取り組み」について、リサイクルは徹底されているので、今後は発生抑制の視点でも取組を考え、目標を設定してください。
生駒駅北地下自動車駐車場		可能な限り数値目標を定めた上で、取組を実施してください。
高山竹林園	来園者にも省エネルギー、節水の協力依頼をしている点が評価できます。	可能な範囲で数値目標を定め、取組を実施してください。
人権文化センター	職場内省エネの取り組みで、職員間の協議や取組の中間報告を持って進捗を確認している点が評価できます。	省エネの取組成果を職員間だけでなく、利用者とも共有できるように見える化を検討してください。
エコパーク21	発生したメタンガスの使用バランスによってエネルギー使用量16%減の成果をあげている点が評価できます。さらなる深化を期待します。	項目No.3で設定している用紙使用量の目標について、現状を分析した上で、2%減が適切な数値なのか検討してください。
デイサービスセンター長楽	具体的な取組を進める中で、「気泡緩衝材」の設置や利用者の学ぶ機会の設定についてなど、現状を振り返り、次年度の課題を見つけている点が評価できます。	次年度以降、「気泡緩衝材」の代替案や、利用者と共に学ぶ機会の創出について期待しています。

所属名	評価できる点	改善を要する点
保護課	常時使用しないシュレッダー等機器類の電源オン・オフの切り替えを徹底している点が評価できます。	目標設定した3項目とも引き続き継続となっていますが、他所属の優良事例等を参考にして、1項目でも新しい取組に挑戦してください。
国保医療課		事務用品の購入時には、グリーン購入(詰め替えができるもの等)を取り入れてください。
建築課	アイドリングストップを行う時間について、環境マネジメントで目標とする時間(3分)から更なる精査を行い、3分に限らず車を停車する時には実施する事に到った点が評価できます。	目標設定を行う際には、他所属の優良事例等を参考にして、1項目でも新しい取組に挑戦してください。
花のまちづくりセンター		ミスト装置の作動に対する来園者の感想を把握し、装置の購入及び作動コストを踏まえた費用対効果を検証してください。
上下水道部総務課	27年度の取組を踏まえた課題と改善方針が打ち出されており、スパイラルアップが認められます。	「利き水コーナー」や「給水スポット」の発想は素晴らしいですが、「課題と改善方針」に記載のように、利用者への周知を検討されることを期待します。
教育支援施設	シュレッダー以外の電源は使用時以外必ず切っている点について評価できます。	項目No.1で記載しているシュレッダーの電源の切り忘れが多いことについて、原因を精査した上で、次年度の目標を設定してください。
真弓小学校	消費電力計の導入によって効率的なエネルギー利用に取り組んでいる点が評価できます。	ゴーヤによるグリーンカーテンの実施について、可能であれば種を採種し、児童の家庭にも広げる取組を検討してみてください。
生駒南第二小学校	①清掃時のバケツ水量減量の取り組みは南二小のみで、評価に値します。他校への広がりも期待します。 ②児童に分別回収させているのが素晴らしいです。	分別回収等の児童の取組を、家庭でも普及できる工夫を考えてみてください。
上中学校	地域ぐるみのクリーンキャンペーンは、市民を巻き込んだ取り組みとして評価でき、とりわけ定着化している点が素晴らしいです。	①節電、紙使用の抑制の取組は中学生にもわかるように数値化して、改善が進んでいる状況を見える化する工夫が望まれます。 ②キャンペーンとして実施している清掃活動によって生徒の意識向上が図られ、日常生活においても取組が推進されることを期待しています。
緑ヶ丘中学校		生徒に対して実施されている環境教育の実施状況についても、目標を設定した取組を行うことで、さらなる推進を期待します。
小平尾保育園	エコかるたの取組は、幼児からの環境教育として面白い発想であると共に、貸し出しを行うことで、家族での意識向上につなげたのも素晴らしい評価できます。	保護者に向けた啓発や、エコかるたの年間を通しての貸出について、ぜひ検討してください。
南こども園(南幼稚園)	①エコ参観は新しい発想であり、保護者にも環境問題の取り組みを波及させる効果が期待できます。 ②PTA活動への働きかけや、保護者への連絡手段にメールを使用したことも素晴らしいです。	電源の切り忘れやペーパーレスなどの取り組みの推進状況が分かる仕組みづくりを検討してみてください。
小平尾南スポーツ施設	事務所以外のゴミ箱を完全撤去し、利用者にも協力を呼びかけた点が評価できます。	項目No.10「施設利用者への環境配慮要請」について、利用者に対する環境配慮の要請を実践したことと成果と課題を精査した上で、さらなる取り組みを進めてください。
むかいやま公園スポーツ施設	落ち葉を焼却せずに、腐葉土にして利用している点が評価できます。	目標設定の方法に関して、達成度を評価できる内容で設定し、取組を進めてください。
消防本部警防課		①公用車の利用抑制に関して、どの程度減らせたのか見える化できるよう工夫してみてください。 ②カーエアコンの温度設定に着目している点は良いと思うので、今後の取組に期待します。
防災安全課(旧生活安全課)	本来業務において、幼児二人同乗自転車のレンタル事業やコミュニティバスの利用促進啓発をよく実施し、自動車の利用抑制につながっていると思います。 ※コミュニティバスについて、路線毎の利用状況を把握し、運行計画を見直して利便性を向上させ、利用者増に取り組んでいる点が評価できます。	コミュニティバスの利用促進に関しては、具体的な方策を検討した上で目標設定を行ってください。 ※さらなるコミュニティバスの利用者増を目指すために、具体的な数値目標を定めた取組ができないか検討してみてください。 ※地域公共交通活性化協議会における公共交通のあり方の議論の中で、具体的な目標を設定することも検討してください。
		※がついている点は、平成27年度に公共交通網の普及を所管していた企画政策課に対するコメントですので、併せてお伝えします。
ベルテラスいこま自動車駐車場	ゴミの削減の徹底に関して、今年度の取組をふまえ、必要のない包装を事前に断ることを次年度の課題として取り上げることで、さらなる徹底を推進しようとする姿勢が評価できます。	項目No.2の節水の取組に関しては、可能な限り実績を数値で見える化して取組んでもらいたいです。
市民課	紙使用の抑制について、今年度の取組をふまえ、文書を減らす取組の実践を次年度の課題として取り上げることで、さらなる徹底を推進しようとする姿勢が評価できます。	項目No.6公用車の利用抑制については、現状維持で満足せず、成果を上げるような方針を打ち出して取組を進めてください。
小平尾南老人憩の家	目標に掲げた項目のいずれについても取組が定着しつつあることは評価できます。	①項目No.1の省エネの取組は、基本的なことであるため、28年度は、「取組が定着した」となるような実践が望まれます。 ②項目No.10の施設利用者に対する環境配慮要請について、理解度が高まる説明の仕方を工夫して取組を進めてください。
環境保全課	①ごみ有料化を実施し、ごみの削減目標に向けて大きな一歩を進めた点が評価できます。 ②食器市や環境フリーマーケットを定期的開催し、市民への啓発を図っている点も素晴らしいです。	①環境フリーマーケットに関して、開催頻度の検討も実施しながらイベントの認知度向上のための工夫を考えてください。 ②エコパーク21については、環境教育の拠点としての活用も視野に入れ、他の施設も含めて市民に対する施設見学会をより積極的に進めてください。
清掃リレーセンター	目標を具体的に数値化して取組を実践している点が大変評価できます。	省エネの取組は既に成果をあげていますが、今後も継続していくことが重要ですので、過去の優良事例等を参考に、新しい工夫を期待しています。

所属名	評価できる点	改善を要する点
デイサービスセンター幸楽	①高齢者の安全安心な生活を第一に考えながらエコオフィスの取組を丁寧に実践されている様子がうかがえます。 ②不要なカタログの受け取りを断り、外部に対しても紙使用抑制の取組姿勢を徹底している点が評価できます。	施設利用者に対しても環境配慮の取組の理解を得られるような工夫をしながら、今後も取組を継続してください。
介護保険課	紙の使用量減少、ごみの削減ともに、実績を把握した上で、成果を出せている点が評価できます。	項目No.4「廃棄物の発生抑制、再使用の取組」とNo.5「グリーン購入」については、過去の優良事例等を参考にして、さらなる成果をあげられるよう努めてください。
事業計画課	街路灯のLED化などを意識し、環境にやさしいまちづくりにおける主要なセクションとしての自覚がある点が評価できます。	環境にやさしいまちづくりを推進する上で、街路灯のLED化を推進することに加え、歩行者の安全に配慮した歩道の改良も前提におきながら取組を進めてください。
みどり公園課(旧みどり景観課)	①エコオフィスの取組について、具体的な数値目標を掲げて実践している点が評価できます。 ②緑視率の向上にむけて多岐にわたる取組を実践されている点が評価できます。	①帳票2事業No.53「生垣助成」について、申請件数増加に向けたPR方法を検討してください。 ②帳票3項目No.3「紙の使用量削減」については、裏紙の利用向上だけでなく、パソコンからのプリントアウトの数量削減の観点からも取組んでみてください。 ③保護樹林は持ち主の意向もあり困難だと思いますが推進を期待しています。
会計課	設定した取組全ての目標がいずれも具体的である点が評価できます。	
浄水場	小水力発電の目標水準が明確に数値化されている点が評価できます。	①帳票2に記載している発電量の目標設定については、今年度の実績をふまえた数値に設定して取組を進めるとともに、2基目の導入も検討してもらいたいです。 ②帳票3項目No.3「紙使用の抑制、リサイクル」、No.6「公用車利用による環境影響の抑制」は課題と改善方針を再度考えた上で28年度の目標を設定してください。
巻分小学校	①エコオフィスの取組については、明確に目標を立てた上で実践しており、実施状況もきちんと把握できている点が評価できます。 ②独自施策として実施しているエコキャップ活動は、児童への啓発として効果的だと思います。	①項目No.2の節水については、節水蛇口の導入も検討しながら取組を進めてください。 ②項目No.3紙使用抑制で課題に挙げている原稿チェックは、業務の都合上困難なケースもあると思いますが、実行した上で出てきた課題を精査しながらPDCAサイクルを回していけば良いと思います。
生駒北小学校	①具体的な目標を設定し、項目によっては育友会と連携した取り組みを進めている点が評価できます。 ②節水の取組に関して、漏水がないか確認した結果、修理が必要な箇所が出てきたことを踏まえて、一か月ごとに水道使用量チェックを導入することを打ち出しており、PDCAサイクルをうまく回していると思います。	項目No.21に記載している節水、節電、ペットボトルキャップ収集取組状況の見える化は、さらなる効果につながると考えられますので、ぜひ実践してください。
生駒中学校	それぞれの取組に対して具体的な課題を把握した上で目標を設定し、エコオフィスを実践できています。 課題に対する結果検証ができていく項目が多いので、28年度の目標設定に活かしてください。	
学校給食センター	食品を扱う施設として、安全衛生面を第一に考えながらエコ管理に取組まれていると思います。	
生駒幼稚園	独自施策として「スマイルえecoデー」やみどりのカーテンを実施し、保護者も巻き込んだ取組を推進している点が評価できます。	
子育て支援総合センター	独自施策として環境教育を推進しており、成果として参加者の声も把握している点が評価できます。	
生駒市体育協会滝寺S.C.	施設の立地環境に応じた対策として、公共交通機関の利用促進も検討した上で、利用者に車の相乗り要請を実施している点が評価できます。	行政、事業者、利用者が一体となってエコな取組を実施できる体制を継続してもらいたいです。
TAC井出山スポーツパーク	空調フィルターの定期清掃、エコキャップの回収、高効率照明の導入、プールの放熱防止、クリーンウォーク等、業務の中で常にエコ推進を図る姿勢が見てとれ、すばらしいです。	市民が楽しみながら施設を利用する中で、利用者の理解も得ながらさらなる取組を期待しています。
消防署(本署)	独自施策として清掃美化活動を週に一回継続して取組んでいる点が評価できます。	
防災安全課(旧危機管理課)	緊急備蓄品の有効利用が実行されている点が評価できます。	目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。
契約検査課	本来業務での取組を含め、資源の再生をはじめとする多くの項目に取り組みされていて、活動に積極的である点が評価できます。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定し、さらに一歩進んだ取組の推進を期待します。 ②契約時の環境配慮の視点による事業者評価システムを推進し、実行率を向上させる事が望まれます。
市民活動推進課	①市民への影響・波及効果が高い取組を実践している点が評価できます。 ②本来業務において、封筒使用量の削減に意欲的に取り組んでいる点が良いです。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。 ②帳票2事業No.20「市内地区集会所への太陽光発電設置補助」については、周知の方法を見直すなど普及促進に努めてください。 ③帳票3項目No.5「グリーン購入」に関しては、事務用文具等を購入する際にも意識するよう心掛けてください。

所属名	評価できる点	改善を要する点
課税課	本来業務において独自に取り組んでいる省エネ改修時の固定資産税減額措置と封筒のグラシン紙化は、件数も多く大きな効果が出ており、大変評価できます。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。 ②環境配慮に即した取組への減税措置制度を他にも展開できないか検討してもらいたいです。
小平尾南児童館	本のリサイクルやみどりのカーテン等、独自の施策を含む取組が推進されています。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定し、さらに一歩進んだ取組の推進を期待します。 ②市民、子どもたちへの啓発推進が望まれます。
高齢施策課	ファイルの削減に努め、廃棄物の再利用に取り組んでいる点が評価できます。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。 ②項目No.4廃棄物の再利用について、ファイル以外の文具にも展開してください。 ③過去の優良事例を参考にし、独自の施策も実施できないか検討してください。
デイサービスセンター寿楽	食事量を調整して残食を減らす工夫をしている点は独自性があり、評価できます。	目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。
健康課	市民団体と連携してウォーキングマップの作成を実施した点が評価できます。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。 ②帳票2に記載しているウォーキングマップについて、さらなる充実を図り、ECO-net生駒のまちみち部会との連携によるイベントの実施も検討してください。
やすらぎの杜優楽	①エコ運転を徹底するため、勉強会を実施している点は大変評価できます。 ②業者や施設利用者に対しても環境配慮の取組について一定程度波及できていると思います。	目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。また、目標達成のための取組について具体的な期限を定めて実施すれば効果が出ると思います。
土木課	目標を達成している項目が多い事に加え、本来業務に関連した2つの独自取組(工事施工時の再生資材使用・廃材の再生資源化施設への搬出、排出ガス対策型建設機械の使用義務化)は効果も大きく評価できます。	取組の進捗状況について、具体的な内容の記載が望まれます。
みどり公園課(旧公園管理課)	地域住民との協働による公園づくりを推進している点が評価できます。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。 ②緑の育成の推進、自然環境に配慮した公園づくりを期待します。
あすか野小学校	節電や節水について、具体的な取り組みを推進しています。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定し、さらに一歩進んだ取組の推進を期待します。 ②児童に対して実施されている環境教育の実施状況についても、目標を設定した取組を行うことで、さらなる推進を期待します。
俵口小学校	①デマンド計測による電力のピークカットを実施している点が、意識の高さを感じ、評価できます。 ②課題をきめ細かく分析した上で目標を設定して取組んでいます。	目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定し、さらに一歩進んだ取組の推進を期待します。
生駒南中学校	①多くの課題を見つけた上で取組を推進し、達成度も高く優良です。 ②地域と連携した取組を進めている点が評価できます。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定し、さらに一歩進んだ取組の推進を期待します。 ②地域ぐるみの活動を更に推進できないか検討して取組を進めてください。
こども課	①数値目標を設定して進捗管理している点が評価できます。 ②南こども園に出力規模の大きい市民共同発電所を建設した点も評価できます。	幼稚園等への太陽光発電システム設備の導入について、現在設置している箇所以外に展開できないかどうかを検証し、さらなる推進につなげてもらうことを期待しています。
あすか野幼稚園	①地域と連携した清掃活動を実施している点が評価できます。 ②園独自の環境ビジョンを運用し、園児の意識や行動についても把握している点が素晴らしいです。	①目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。また、目標達成のための取組について具体的な期限を定めて実施すれば効果が出ると思います。 ②環境ビジョンの作成・運用は、学校版の環境マネジメントシステムにつながる取組なので、今後の経過に期待します。
なばた幼稚園	落ち葉を利用した腐葉土づくりなど、園独自の取組を含めて具体的な目標を設定できています。また、目標達成度も高く優良です。	目標設定時には、可能な限り達成状況が把握できるよう、定量的な数値で設定し、ECO幼稚園としてさらに一歩進んだ取組の推進を期待します。
こどもサポートセンター	目標を数値で管理できおり、節電について大きな成果を出している点が評価できます。	紙使用量削減についても、数値の把握を検討してPDCAサイクルを回してください。
イモ山公園スポーツ施設	節電、ごみ削減、落ち葉の腐葉土化などを実行しており、施設利用者が多いので、大きな効果が出ているのではないかと推測します。	①目標設定時には、可能な限り達成状況や前年比較が把握できるよう、定量的な数値で設定してください。 ②周辺地域での自然観察会などのイベントが実施できないか検討してもらいたいです。
HOS生駒北スポーツセンター	明確で具体的な取組目標を設定し、環境に配慮した運営を推進しています。	①目標設定時には、可能な限り達成状況や前年比較が把握できるよう、定量的な数値で設定し、さらに一歩進んだ取組の推進を期待します。 ②施設利用者に対するさらなる環境配慮の啓発を推進してください。
消防署南分署	省エネ効果の高い空調管理を実施していることに加え、独自に庁舎周辺の清掃を行っている点が評価できます。	本来業務の中で取り組めることはないか、過去の優良事例等を参考に検討してみてください。

添付 3. 生駒市環境基本計画で掲げられている指標と目標（計画から抜粋）²

指標 1 二酸化炭素排出量 基準年 平成 18 年度 目標年 平成 30 年度

目標	全市域での二酸化炭素排出量（28.7 万 t-CO ₂ ）を 14%削減し、24.7 万 t-CO ₂ にする。
----	--

指標 2 ごみ排出量 基準年 平成 19 年度 目標年 平成 30 年度

目標	家庭系ごみ排出量	1 人 1 日あたり排出量（673.2g）を 15%削減し、570.0g にする。
	再資源化率	16.8%を 30.0%に向上させる。
	事業系ごみ排出量	9,128t を 6,721t に削減する。

指標 3 公共交通 基準年 平成 19 年度 目標年 平成 30 年度

目標	鉄道利用者（19,210 千人）を、現状維持から 0.5%増にする。
	路線バス利用者（5,078 千人）を、10%増（生駒駅、東生駒駅発着路線のみ）にする。
	コミュニティバスなどの代替交通の新規路線を複数ルート実現する。

指標 4 河川水質 基準年 平成 19 年度 目標年 平成 30 年度

目標	竜田川の水質を、観測 4 地点の年間平均で BOD（生物化学的酸素要求量）5 mg/L 以下とする。
----	--

指標 5 参加人数 平成 21 年度以降の累計 目標年 平成 30 年度

目標	生駒市や生駒市環境基本計画推進会議が開催する講座・行事への参加者が、平成 21 年度から 10 年間の延べ人数で、生駒市の総人口である 11.7 万人（平成 19 年 10 月現在）とする。
----	---

² 計画の全文は、市ホームページを参照のこと。
生駒市環境基本計画 5 年目見直し版のページ <http://www.city.ikoma.lg.jp/0000000030.html>

添付 4. 生駒市エネルギービジョンで掲げられている目標と主な取組スケジュール（ビジョンから抜粋）³

■目標

(1) 行動目標（平成 42（2030）年度の都市イメージ）

『エネルギーを賢く利用し、安心・安全で持続的に成長できる都市』

・行政の目標

省エネルギーの促進及び再生可能エネルギーの普及を目指すとともに、エネルギーセキュリティを確保します。

・事業者の目標

CO₂排出量に応じた省エネ・創エネに努め、市や市民が取り組む活動に参加・協力します。

・市民の目標

「環境 No.1 都市」にふさわしいライフスタイルに転換し、住宅のエコ化や省エネ製品の選択に努めます。

(2) 数値目標

①平成 42（2030）年度（中長期）

省エネ行動（ライフスタイルの転換）及び建築物の効率化等により、市域のエネルギー消費量削減割合を平成 18 年の 20%以上とします。

また、市域の再生可能エネルギーの導入割合を平成 23 年度の 6 倍以上とするため、太陽光発電の普及率を平成 23 年度の 4.8%から平成 42 年度の 30%に引き上げます。

これらの省エネルギー及び創エネルギー施策により、平成 42 年度の電力需要見込みに対する太陽光発電による自給率は 15%を目指します。

②平成 30(2018)年度（短期）

省エネ行動（ライフスタイルの転換）及び建築物の効率化等により、市域のエネルギー消費量削減割合を平成 18 年の 5%以上とします。

再生可能エネルギーの導入目標について、賦存量の検討から計画期間内に導入が見込まれる太陽光発電について、平成 30 年度の目標数値を設定します。

平成 42 年度の目標値を元に、平成 30 年度における太陽光発電の目標普及率を 16.5%とし、設備容量の目標値を 13,791kW と設定します。これは平成 23 年度の 2.9 倍に相当します。

短期と中長期の数値目標

	短期 (平成 30 年度)	中長期 (平成 42 年度)
市域のエネルギー消費量削減割合(平成 18 年度比)	5%	20%
再生可能エネルギー導入割合(平成 23 年度比)	2.9 倍	6 倍
電力需要見込みに対する太陽光発電による自給率	-	15%

³ ビジョンの全文は市ホームページを参照のこと。

生駒市エネルギービジョンのページ <http://www.city.ikoma.lg.jp/0000000591.html>

■ 目標達成に向けた主な取組スケジュール

・ 省エネ対策

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
① 省エネルギー対策の更なる推進					
1) 低炭素型ライフスタイルの提案		節電対策の継続			
	HEMS 導入支援策の検討	支援策の導入	HEMS の運用		
2) 民間事業者の省エネルギーの推進	省エネ支援策の検討		省エネ支援策の順次導入		
		省エネ対策の周知・啓発			
		エネルギー削減インセンティブの検討		モデル事業の実施	
3) エネルギーマネジメントシステム (EMS) の導入検討	導入支援制度の検討		支援制度の順次導入		
		公共施設調査	導入計画策定	順次導入	
			地域 EMS の導入検討		
② コージェネレーション等の普及促進					
1) 家庭用燃料電池 (エネファーム) 等の導入推進			助成の継続 省エネ技術の調査・研究		
2) 公共施設向けコージェネレーションの導入		市立病院への導入		運用	
	施設調査	導入先選定		順次導入	
3) 民間事業所向けコージェネレーションの導入支援		調査	支援策検討	支援策の導入	

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
③ 建築物のエネルギー性能向上					
1) エネルギー効率の高い住宅への転換		省エネ改修補助の実施			
	中古住宅リノベーション体制の調査		支援策の導入		
④ 低炭素まちづくりの推進					
1) スマートコミュニティの誘致		スマートコミュニティ推進奨励金の交付			
2) 集合住宅のスマート化の検討	調査 検討		支援策の導入		
3) 低炭素推進区域の設定 検討		調査	モデル区域の検討		導入
⑤ エネルギー効率の高い交通手段の促進					
1) 生駒市に適したクリーンエネルギー自動車の導入 検討	公用車 に導入		公共用車両への導入検討		
				クリーンエネルギーステーション の導入検討	
		超小型電気自動車 等の調査		モデル導入	
2) コミュニティバスの運 行路線拡大	運行路線 の拡大		運行の継続・検証		
⑥ 環境教育・啓発の推進					
1) 教育施設における再生 可能エネルギー・省エネ設 備の導入		調査		順次導入	
2) 環境・エネルギー学習 プログラムの検討			調査・検討	モデル実施	

・創エネ対策

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
① 太陽エネルギー					
1) 産業用太陽光発電システムの導入推進		現地調査など導入支援			
2) 家庭用太陽光発電システムの導入推進		導入の促進・支援			
3) 集合住宅用太陽光発電システムの導入推進		導入の促進・支援			
4) 公共施設及び自治会集会所への太陽光発電システムの導入推進	調査	公共施設等への順次導入			
		自治会集会所への補助			
	市民共同発電所の開設	取組の普及拡大、他都市との連携			
5) 遊休地を活用した太陽光発電システムの活用検討		調査・活用方法検討・提案			
6) 太陽熱利用システムの普及検討		現況調査		導入可能性検討	
7) ソーラーオブリゲーション導入の検討			調査		導入可能性検討
② バイオマス					
1) バイオマスを活用した発電・熱利用等の検討	バイオマス活用施設のあり方の検討		活用計画の策定		エネルギー活用モデル実施
		各地域での取組調査・検討		モデル地区での導入	
2) ボイラー更新時におけるバイオマスボイラー情報の提供		調査・情報の提供			
③ 小水力					
上水道施設での小水力発電			継続運用		

・セキュリティ対策

項目	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
① 公共施設等への再生可能エネルギー導入促進（防災拠点の機能強化）					
1) 防災関連施設への再生可能エネルギー機器の導入	施設調査	市立病院への導入		運用	
		導入先選定		順次導入	
2) 民間事業所向けコージェネレーションの導入支援		調査	支援策検討	支援策の導入	
② 住宅へのエネルギーセキュリティ導入促進					
1) 居住継続性能住宅の開発促進	調査検討		支援策の導入		

生駒市環境モデル都市アクションプラン 概要版① 【全体構想及び取組体制】



生駒市の地域特性・課題・これまでの主な取組

地域特性

- ・大都市隣接の利便性を活かし、低層住宅を中心とした質の高い住宅都市として発展
- ・生駒山系に象徴される豊かな自然に恵まれた居住環境

これまでの主な取組

- 市民協働の取組の推進
- バイオマスの有効利用の推進
- 再生可能エネルギーの導入支援
- 省エネルギー対策の推進

生駒市における課題

1. 急速な高齢化への対応と若い世代の呼び込みを可能とする都市構造のグランドデザイン
 2. 廃棄物問題への対応 3. 産業の活性化 4. 市民力のさらなる活用 5. 高齢化に伴う各種の課題への対応

➡ 低炭素型のまちづくりと、市民の利便性の向上、産業活性化、防災力の強化などを図り、課題に対応していくことで、住宅都市として一つのモデルとなるまちの実現を目指していく。

現状分析

地域の温室効果ガス排出量

・2008年度まで増加傾向であったが、2009年度以降は減少傾向に転じ、2010年度は基準年度(2006年度)と比較して6.9%減少した。
 ・部門別みると、家庭部門(41.4%)、業務部門(26.3%)、運輸部門(19.7%)、産業部門(10.4%)、廃棄物部門(2.2%)の順であった。
 ・住宅都市であることから、家庭と業務の民生部門が全体の大半(67.7%)を占めている。大幅に削減するためには、民生部門への対策を重点的に行う必要がある。

年度	排出実量	削減後排出量	削減量
2006 (H18) (基準年度)	30.5	28.4	2.1
2007 (H19)	30.7	28.4	2.3
2008 (H20)	31.0	28.4	2.6
2009 (H21)	30.7	28.4	2.3
2010 (H22)	28.4	28.4	0.0

計画の位置づけ

・生駒市環境モデル都市アクションプランは、「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)」に相当するものとして位置づける。

関連する計画とアクションプランの位置づけ

地域域の活力の創出などの効果

環境モデル都市の取組は、温室効果ガスの大幅な削減だけでなく、都市の新たな魅力や活力の創出などを実現するものである。生駒市は国内初の住宅都市における環境モデル都市であり、先導的な取組を行っていくことにより、まちの暮らしやすさやブランドイメージの向上、地域産業の活性化などを図り、社会的効果と経済的効果の好循環を生み出していく。

環境モデル都市の取組

- ① 都市構造の再設計
- ② 資源循環・エネルギー自給システムの構築
- ③ ICTを活用したコミュニティサービスの推進
- ④ 食のバリューチェーン構築
- ⑤ コミュニティ交通システムの再構築

社会的効果

- 人口の増加・人口の構成などへの向上
- 住居へのサービス、まちの暮らしやすさの維持・向上
- 取組への市民、事業者の参加

経済的効果

- 人的交流及び経済の循環
- 来訪者(観光、研修、観光など)
- 地域外への販売(農産物など)
- 以上による雇用創出、経済波及効果

取組体制・フォローアップ

・環境モデル都市の推進という観点から、「生駒市環境モデル都市推進本部」、「生駒市環境モデル都市推進協議会」を設立する。
 ・「生駒市環境モデル都市推進協議会」は、市民、学識経験者、民間企業などの保有する知見・ノウハウを活用し、取組の進捗状況、温室効果ガス削減量、地域活力の創出などの評価指標の目標値と実績の差異分析を含めた継続的なPDCAサイクルを構築する。
 ・取組が多岐にわたることから、取組の5つの柱に沿ってテーマ別のワーキンググループ(WG)などを設け、個別施策を推進していく。
 ・政策を横断的に展開するため、温暖化防止対策を総合的に担う「環境モデル都市推進課」を新設し、事務局として各取組の所管課のフォローアップ活動をマネジメントする。

フォローアップの体制

削減目標など

将来像

～市民・事業者・行政の“協創”で築く
低炭素“循環”型住宅都市～

<将来像に向けて構築する5つのモデル>

1. 世代循環モデル
2. 低炭素資源循環モデル
3. 環境・エネルギーと農業での循環モデル
4. 市民・事業者・行政等の協創モデル
5. 低炭素事業と新たなコミュニティサービスの循環モデル

削減目標

◆CO₂の削減目標

中期目標 2030年度
35%(約10.6万t-CO₂)削減

長期目標 2050年度
70%(約21.3万t-CO₂)削減

※基準年度(2006年度)比

温室効果ガス中・長期削減目標のイメージ

生駒市に特徴的な3種のゾーン

- 環境先進ゾーン**: 資源循環の拠点となる「エネルギー&バイオセンター」において都市廃棄物を利用し、発生させる電気・熱・CO₂の活用方法を多様化させることで大幅なCO₂削減につなげる
- 住宅ゾーン**: 昭和30年代から計画的に住宅地開発が行われてきたため、住宅エリアごとに構成世代が異なり、高齢エリアでは今後、空家が増加する可能性がある
- コンパクトシティゾーン**: 生駒市において想定される超少子高齢社会に対応するため生駒駅・東生駒駅等主要駅周辺エリアが行政・経済の要となる

削減目標の達成についての考え方(中長期取組方針)

生駒市が抱える課題に対応するため、“循環”と“協創”をキーワードとした5つの柱に基づく取組を推進し、今後も増加が予想される民生部門を中心とした温室効果ガス排出削減を実現する。取組を推進していくにあたっては、高い環境意識をもつ市民の力を基盤としていく。

1. 「都市構造の再設計」
住宅・事業所を社会共有のストックとして捉え、高効率のストックを集中して整備するとともに、いかにしてより効率の高い住居・事務所に移ってもらうようにすることが重要である。
2. 「資源循環・エネルギー自給システムの構築」
地域の住宅及び事業所などにおける分散エネルギー源(太陽光発電システム、燃料電池、コージェネレーション、バイオガス発電)の導入・利用を促進し、災害時にも対応できるまちづくりを目指す。
また、地域に導入される分散型エネルギー源を面的に有効活用していくために、地域のエネルギー供給を管理する新電力・地域エネルギー会社の設立を検討する。
3. 「ICTを活用したコミュニティサービスの推進」
エネルギー利用の最適化を目的に構築される情報通信ネットワークについて、交通、医療、教育など他のコミュニティサービスにおいて活用していくことにより、高齢者、若年層、子育て世代、熟年層といった世代ごとのニーズに沿ったコミュニティサービスの多様化、コミュニティの形成を目指す。
4. 「食のバリューチェーン構築」
ICTを活用した農業の6次産業化による食のバリューチェーンを構築することにより、継続的な地産地消サイクルの確立を目指す。また、環境に配慮した安全・安心な野菜などの栽培を、教育や生きがいづくりといった地域づくりに活用していくとともに、これらの活動を通して「生駒ブランド」を確立し、地域外へ販路を拡大することにより地域経済の活性化に貢献することを目指す。
5. 「コミュニティ交通システムの再構築」
コミュニティ交通のサービス地域や内容を「都市構造の再設計」と連動させ、住みやすさの維持向上に繋げて行く。また、コミュニティ交通のサービス主体や内容を「ICTを活用したコミュニティサービスの推進」と連動させ、持続的なサービスの実施主体や基盤の確保に繋げて行く。

市民力

取組の5つの柱とそれを支える市民力

⁴ 全文については、市ホームページを参照のこと。 環境モデル都市のページ <http://www.city.ikoma.lg.jp/0000001440.html>